

令和4年度北栄町介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定委員会

日 時 令和5年3月1日（水）

午後3時～4時30分

場 所 北栄町役場大栄庁舎

3階 第1委員会室

日 程

1 開 会

2 あいさつ

3 副委員長の選出について

4 議 事

（1）介護保険事業等の実施状況について〔別紙資料〕

（2）その他

4 閉 会

＝ 介護保険事業の実施状況 ＝

1 介護給付費の推移

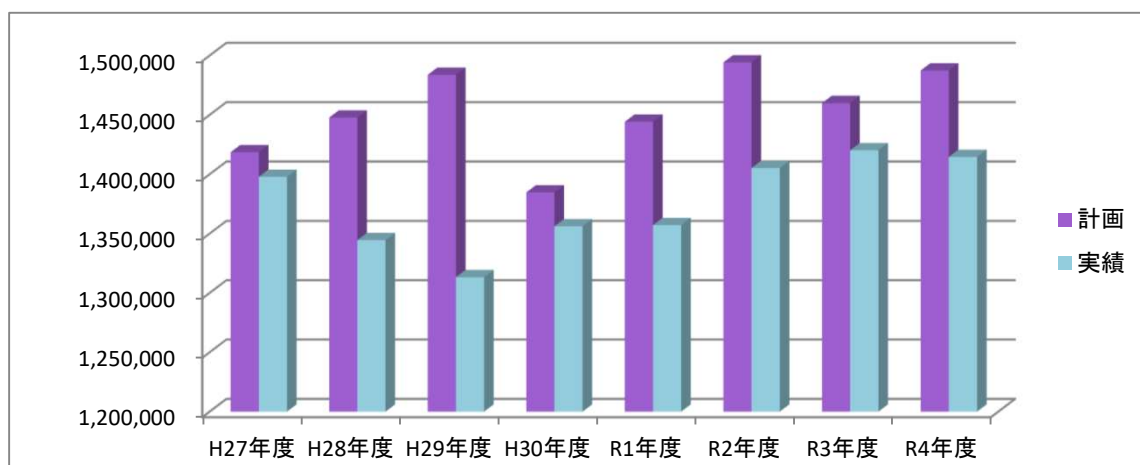
(1) 要介護、要支援別

①介護給付費（要介護1～5）

(単位：千円)

	第6期			第7期			第8期	
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
計画	1,418,623	1,447,820	1,483,840	1,384,720	1,444,252	1,494,273	1,459,979	1,487,436
実績	1,397,862	1,344,576	1,313,264	1,356,208	1,357,180	1,405,314	1,420,224	1,414,622
差引	20,761	103,244	170,576	28,512	87,072	88,959	39,755	72,814

※令和4年度実績は見込み値

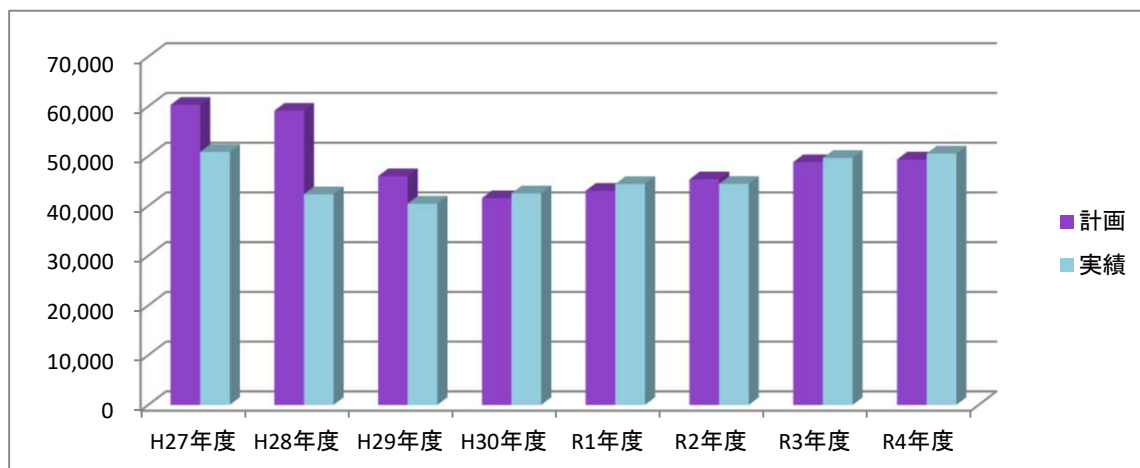


②介護予防給付費（要支援1，2）

(単位：千円)

	第6期			第7期			第8期	
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
計画	60,316	59,137	45,976	41,560	43,044	45,341	48,809	49,331
実績	50,844	42,355	40,456	42,530	44,412	44,427	49,647	50,546
差引	9,472	16,782	5,520	△ 970	△ 1,368	914	△ 838	△ 1,215

※令和4年度実績は見込み値



平成28年度より介護予防・日常生活支援総合事業に移行したため、介護予防通所介護、介護予防訪問介護が段階的に移行。

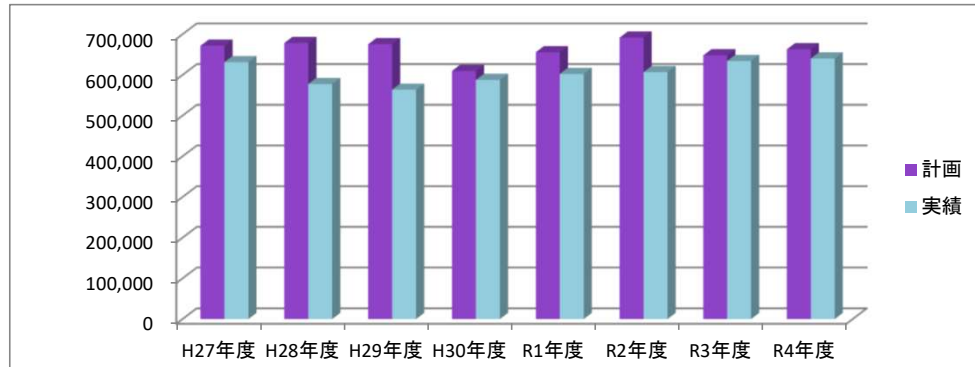
(2) 各サービス別

① 居宅サービス（介護給付・介護予防給付）

(単位：千円)

	第6期			第7期			第8期	
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
計画	671,755	678,601	675,464	610,033	655,922	691,869	648,223	663,109
実績	631,435	577,739	563,733	587,796	602,513	607,061	634,329	640,374
差引	40,320	100,862	111,731	22,237	53,409	84,808	13,894	22,735

※令和4年度実績は見込み値

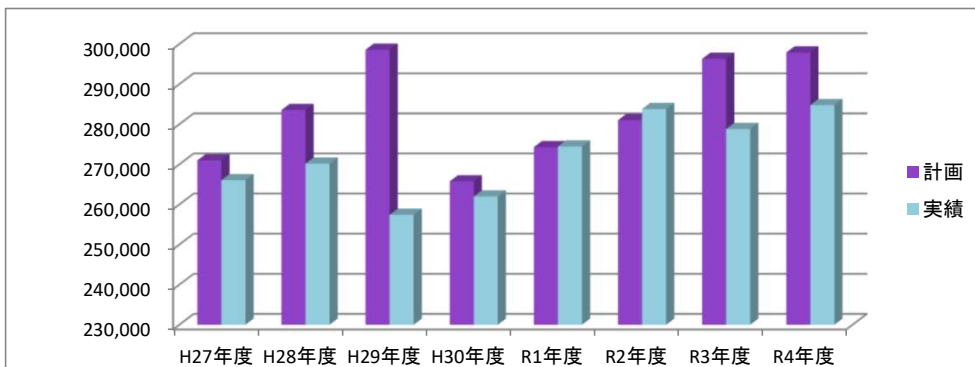


② 地域密着型サービス（介護給付費・介護予防給付）

(単位：千円)

	第6期			第7期			第8期	
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
計画	271,006	283,564	298,597	265,775	274,307	281,036	296,324	297,895
実績	266,054	270,191	257,420	261,988	274,453	283,805	278,817	284,783
差引	4,952	13,373	41,177	3,787	△ 146	△ 2,769	17,507	13,112

※令和4年度実績は見込み値

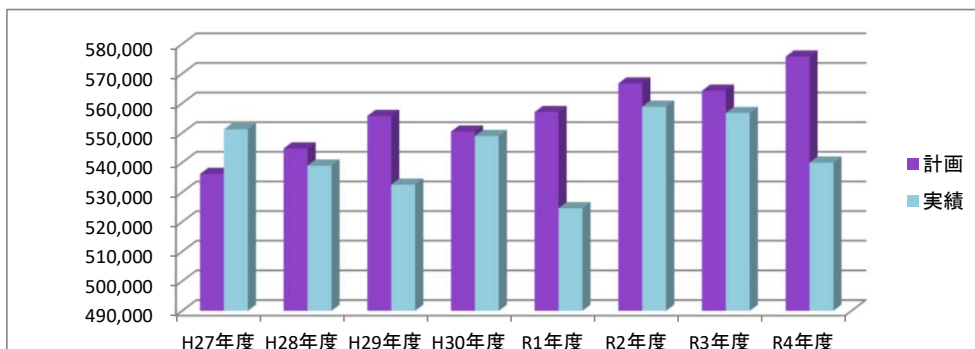


③ 施設サービス（介護給付費）

(単位：千円)

	第6期			第7期			第8期	
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
計画	536,178	544,792	555,755	550,472	557,067	566,709	564,241	575,763
実績	551,219	539,001	532,567	548,954	524,626	558,875	556,725	540,011
差引	△ 15,041	5,791	23,188	1,518	32,441	7,834	7,516	35,752

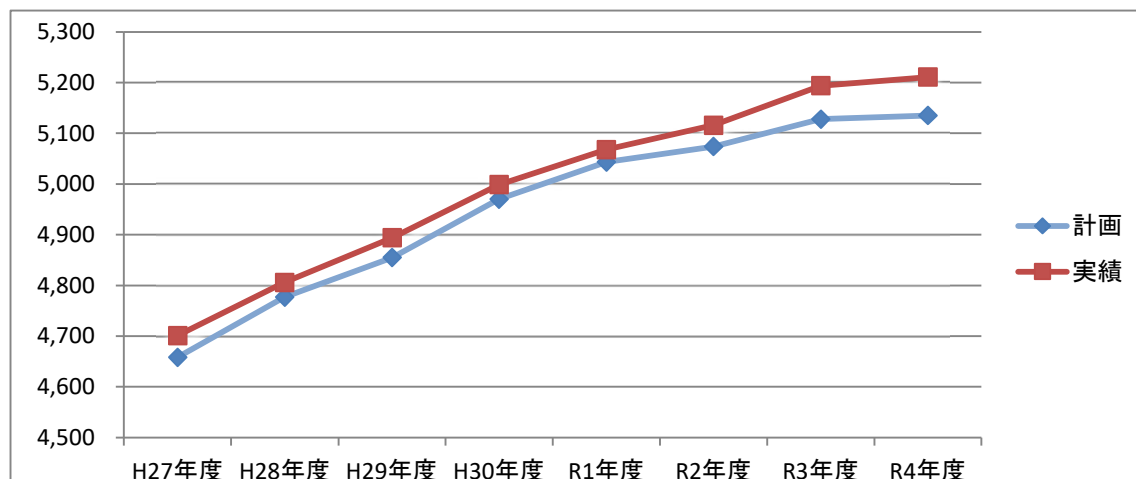
※令和4年度実績は見込み値



2 高齢者（65歳以上人口）の推移（各年度9月末現在）

（単位：人）

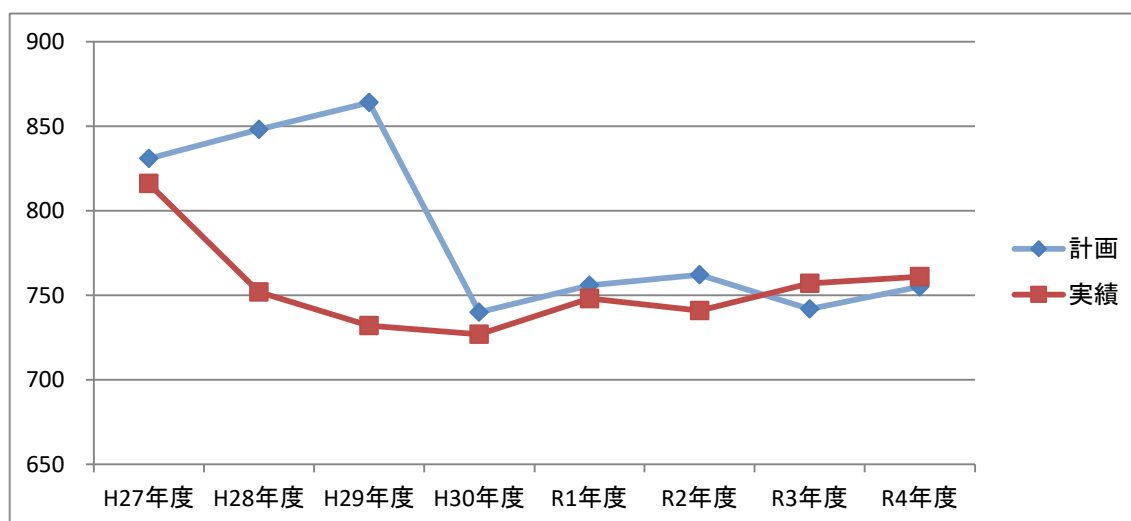
	第6期			第7期			第8期	
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
計画	4,658	4,777	4,855	4,970	5,043	5,074	5,128	5,135
実績	4,701	4,806	4,894	4,999	5,068	5,116	5,194	5,211
比較	43	29	39	29	25	42	66	76



3 要支援・要介護認定者の推移（各年度9月末現在）

（単位：人）

	第6期			第7期			第8期	
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
計画	831	848	864	740	756	762	742	755
実績	816	752	732	727	748	741	757	761
比較	△ 15	△ 96	△ 132	△ 13	△ 8	△ 21	15	6



4 介護給付費準備基金積立金の推移

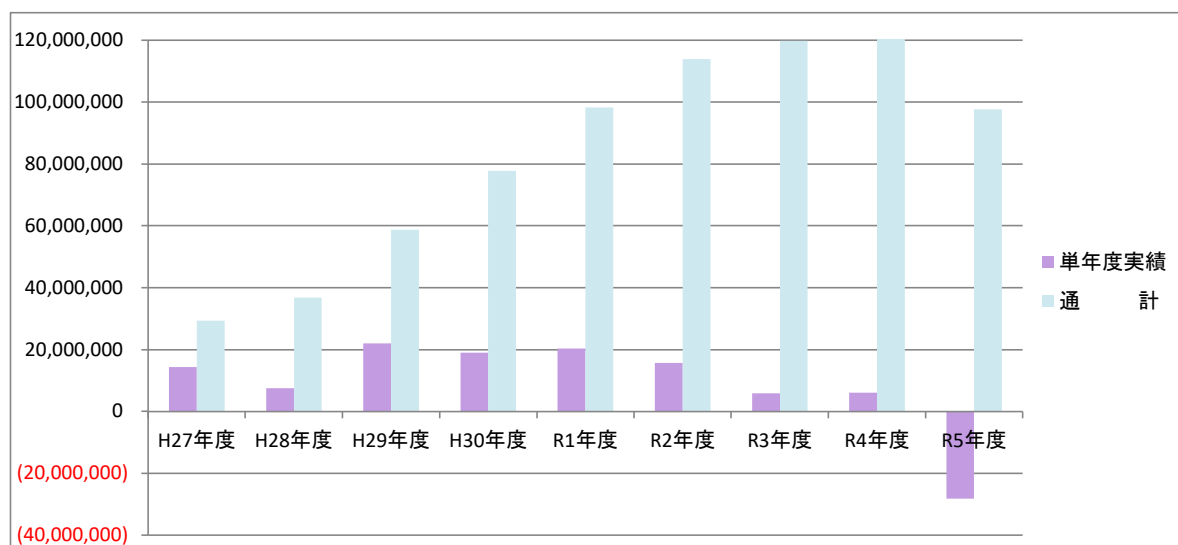
介護給付費準備基金は、介護保険事業特別会計において発生した余剰金等を積み立て、財源不足時に取り崩して充当するために設置される基金です。事業運営期間の最終年度において残高がある場合には、次期保険料を見込むにあたり、最低必要と認められる額を除き取り崩すことが基本的な考えであるとされています。

第8期介護保険料額設定については、保険給付費の増加が見込まれたものの、支払に不足額が生じた場合には、第7期末までの基金積立金を活用することとし第7期保険料と同額に据え置きました。

(単位：円)

	第6期			第7期			第8期		
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
単年度実績	14,320,663	7,453,000	22,008,000	19,018,000	20,419,000	15,675,000	5,875,277	6,048,000	△ 28,150,000
通 計	29,320,663	36,773,663	58,781,663	77,799,663	98,218,663	113,893,663	119,768,940	125,816,940	97,666,940

※令和4年度、令和5年度実績は見込み値



〔説明〕

基金運用の実績（見込み）としては、第8期計画策定当初は、計画期間中（R3～R5）に61,800千円の基金取り崩しを見込んでいましたが、令和3年度及び令和4年度決算では、介護給付費の伸びが計画値を下回る見込みであることから（資料P1～2参照）、令和4年度決算見込みは、上記のとおり約6,048千円積み立て可能な見込みとなりました。なお、令和5年度予算では、約28,150千円の取り崩しが必要となる予算編成となっています。

5 地域支援事業の取組実績と見込み

(単位：人、回)

区分			単位	第7期			第8期				
				平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (計画値見込)	令和3年度 (実績)	令和4年度 (計画値見込)	令和4年度 (実績見込)	令和5年度 (見込)
介護予防・日常生活支援総合事業費	介護予防・生活支援サービス事業	介護予防訪問介護相当サービス	延人数	307	247	209	220	221	220	269	220
		介護予防通所介護相当サービス	延人数	884	952	835	840	877	840	845	840
		筋力アップ教室北条 ※ (通所型サービスA)	回数		48	集:31 モ:13	48	集:30 モ:18	48	集:16 モ:34	48
			延人数		397	集:235 モ:113	480	集:281 モ:198	520	集:109 モ:253	540
		筋力アップ教室大栄 ※ (通所型サービスA)	回数							集:40 モ:8	
			延人数							集:335 モ:58	
		リフレッシュ教室 ※ (通所型サービスA)	回数	48	48	集:40 モ:8	48	集:31 モ:17	48	集:25 モ:23	48
			延人数	356	298	集:201 モ:53	300	集:166 モ:96	320	集:120 モ:115	340
		はつらつ！お達者教室 ※ (通所型サービスA)	回数	96	48	集:48 モ:0	48	集:40 モ:8	48	集:39 モ:9	48
			延人数	761	435	集:390 モ:0	400	集:397 モ:79	420	集:318 モ:71	440
		食べて！うたって！笑わー 会！(通所型サービスA)	回数	48	48	48	48	47	48	48	48
			延人数	579	325	315	330	355	350	309	350
		パワーリハビリ教室 ※ (短期集中予防サービス)	回数	48	48	集:34 モ:14	48	集:30 モ:18	48	集:7 モ:22	48
			延人数	320	286	集:241 モ:120	400	集:176 モ:138	420	集:47 モ:162	420
	一般介護予防事業	認知症サポーター養成講座	回数	10	9	5	8	4	8	9	10
			延人数	271	264	194	200	227	200	609	250
		介護予防運動サポーター養 成講座	回数	2	0	0	2	1	2	1	2
			延人数	30	0	0	30	14	30	20	30
		お口の機能向上事業	回数	6	3	3	3	3	3	3	3
			延人数	33	51	37	45	41	45	29	45
		リハビリテーション専門職 派遣事業	回数	15	9	13	20	15	20	15	20
			延人数	15	9	38	20	15	20	14	20
		高齢者サークル活動支援事業	サークル数	16	20	21	22	26	23	23	24
		シニアファイト教室 ※ (運動器機能向上教室)	回数	141	46	集:46 モ:2	48	集:37 モ:9	48	集:39 モ:9	48
			延人数	845	269	集:342 モ:14	400	集:182 モ:45	410	集:157 モ:52	420
		転倒予防教室 ※ (運動器機能向上教室)	回数	24	24	集:18 モ:6	24	集:15 モ:9	24	集:9 モ:15	24
			延人数	401	417	集:231 モ:92	400	集:230 モ:174	420	集:85 モ:165	440
		生きがいデイサービス (閉じこもり予防教室)	回数	154	102	103	105	103	104	103	104
			延人数	1,066	970	916	900	962	900	963	900
		脳活クラブ ※ (認知症予防教室)	回数		24	集:46 モ:2	48	集:43 モ:5	48	集:39 モ:9	48
			延人数		219	集:390 モ:18	480	集:331 モ:45	490	集:285 モ:64	500
		こけないからだ講座	地区数	1	2	1	1	1	1	0	1
包括的支援事業・任意事業	包括的支援事業	地域ネットワーク会議	回数	7	6	2	4	3	4	10	4
			延人数	268	264	55	180	103	180	386	180
		生活支援サポーター養成講座	回数	1	1	1	1	1	1	1	1
			人数	6	7	11	10	7	10	8	10
		地域ケア会議	回数	23	20	14	24	16	24	19	24
			延人数	71	61	39	96	50	96	48	96
	任意事業	在宅介護者慰労事業	回数	2	2	1	2	2	2	2	2
			延人数	44	40	15	45	30	47	36	50
		家族介護用品支給事業	回数	7	10	15	15	18	17	11	19
			延人数	53	39	22	24	20	24	20	24
		成年後見制度利用支援事業	件数	0	1	2	2	0	2	2	2

※集：集合開催の実施回数、延人数、モ：個別モニタリング開催の実施回数、延人数

6 『地域包括ケアシステム構築のための重点取組事項』(介護保険事業計画 p 34～)
に対する令和4年度取組状況について

① 介護予防施策の充実・推進 (計画 p 34)

項目	主な内容
② 効果的な介護予防事業の推進	リハビリテーション等の専門職と連携し、既存の事業の評価を行い、町全体で必要な介護予防の取り組みや地域への働きかけ等を検討する。特に、地域での住民主体の取り組みの推進にあたっては、地域リハビリテーション活動支援事業や生活支援事業等の他の事業と一体的・効果的な実施に努める。

○既存の事業である「地域ケア会議」や「介護予防教室」それぞれの助言者・指導者（専門職）との意見交換会を開催し、事業内容についての評価を行い、課題の抽出や改善に向けての対応策を確認することができた。

○上述の意見交換会を開催したことにより、リハビリ職がいきいきサロンなどの地域の集いの場に出向き介護予防の助言等を行う専門職派遣事業を令和5年度から開始できる運びとなった。

○介護予防講演会として、12月にご当地体操交流大会視聴会を開催した。北栄町代表としてみどり二区自治会がこけないからだ体操の取り組み等の発表をし、住民主体の取り組みを町民へ情報発信することができた（同日の視聴会はもとより、TCC 放映や町報1月号に表紙掲載された）。



ご当地体操交流大会でみどり二区が発表

項目	主な内容
③ 感染症拡大下での介護予防の取り組み	感染拡大予防のため、今後も様々な通いの場が自粛する可能性が考えられるため、自宅でもできる介護予防等、新しい形の介護予防を住民へ伝えていく。

○コロナ禍であっても感染予防対策を講じることにより安心安全に集合型の活動を継続していただけるよう、社協と連携し、6月に集いの場（いきいきサロン、高齢者サークル）世話人を対象とし、鳥取看護大学荒川教授を講師にお招きし、感染対策研修会を開催した（参加者31人）。

○町内事業所専門職の協力を得て、「北栄さわやか体操第2弾」を制作し、TCC 定期放映やDVD 配布を行い、自宅やいきいきサロンでの介護予防・認知症予防の取組が充実するよう働きかけを行った。

② 在宅医療・介護連携の推進（計画 p 34）

項目	主な内容
④ 地域住民への普及啓発	地域住民が必要なサービスを選択できるよう在宅医療・介護連携に関する事項の普及啓発を行う。中部圏域版エンディングノート「わたしの未来ノート～大切な人に伝えたいこと～」を活用した終活や看取り、人生の最終段階における意思決定支援等に対する理解が促進されるよう普及啓発を行う。

○9月町報で「エンディングノート」の周知と「終活連続講座」を案内し、終活や看取り、人生最終段階における意思決定支援等に対する理解が促されるよう啓発した。終活連続講座は3回シリーズで、寺院住職を講師に、葬儀、法事、お墓の話（第1回：9月）、行政書士を講師に、相続、遺言書、エンディングノートの話（第2・3回：10月）をしていただいた。

○みどり二区老人クラブを対象に出前講座「終活」を開催した。包括支援センター専門職（社会福祉士）が出向き、相続、遺言、エンディングノート、成年後見制度について話をした。



終活講座：清元院井上住職の講話



エンディングノート
：「わたしの未来ノート」

③ 認知症施策の推進（計画 p 35）

項目	主な内容
① 認知症への理解を深めるための普及・啓発、地域で支える体制づくり	地域で認知症の人を支える基盤として、認知症の人の視点に立って認知症の理解を深めるため、認知症サポーターの養成やスキルアップ講座等を実施する。また、認知症高齢者等ご近所応援団ネットワーク登録事業の普及や GPS 利用費助成事業の広報に取り組む。 身近な場所から相談につながるように、認知症サポーターや民生委員、関係機関と連携し、住民に相談窓口の周知を行う。

○6月町報で、町内の事業所にも認知症相談窓口としての受け入れ体制があることを周知した。（4つのグループホーム、2つの小規模多機能型居宅介護施設に、認知症に対する専門知識を持った専門職がいる）

○9月町報で、「世界アルツハイマー月間」に合わせ、認知症の症状や、認知症の人への接し方、オレンジカフェの案内等、認知症への理解が深まる記事を掲載した。また、同月間期間中に図書館内にあるギャラリーゆらりにおいて、町内の地域密着型サービス事業所で高齢の人が制作された作品の特設展示イベントを実施した。

○生涯学習課と連携し、本年度は、自治会単位で開催される「人権を学ぶ会」を、高齢者の人権を考える機会として「認知症」をテーマに設定し、認識を深めていただいた。「じんけんフェスティバル 2022」（12月開催）では、認知症ケア向上連絡会が活動事例報告を行ったほか、町内の高齢者による共同制作作品の展示を行った。



世界アルツハイマー月間特設展示
：ギャラリーゆらり（図書館内）



町内事業所幸齢者（高齢者）共同制作作品
：じんけんフェスティバル 2022 ロビー展示

④生活支援・介護予防サービスの体制整備の推進（計画 p 36）

項目	主な内容
生活支援コーナー ② ディナーターの配置	高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進するため、協議体と連携して、助けあい活動の活性化のための取り組みや、生活支援の担い手（生活支援サポーター等）の養成、関係者（団体）のネットワーク化、ニーズとサービスのマッチング等の役割を果たす。 1層（町全体）及び2層（小学校区域）に設置し、地域の特性に応じた取り組みを行う。

○介護支援専門員から聴取した生活支援ニーズの解決に向けて、生活支援サービス提供団体から現状の提供状況や課題の聞き取りを行った。その対策として、「あったか♡まごごろサービス」の提供範囲の見直しや既存の福祉サービスとの連携、さらなるサポーターの養成等、今後の対応策について検討することができた。

⑤地域ケア会議の充実（計画 p 37）

項目	主な内容
① 多職種連携の推進	地域包括支援センターの専門職に加え、リハビリテーション専門職、歯科医師、歯科衛生士、管理栄養士等と連携し、それぞれの専門性を活かし、地域課題を意識した多職種協働による支援を展開していく。

○令和5年1月から薬剤師の参画が実現し、対象者に対する支援の視野を広げることができた。

項目	主な内容
② 地域課題の検討	個別ケースの検討を積み重ねる中で、地域に不足している資源やサービス、深刻化が予測される地域の課題等を明らかにし、生活支援コーディネーター等関係者で共有し、地域課題の解決に向けた検討を行う。

○地域ケア会議後の時間帯に、地域課題についての検討会を定期開催する体制を定着させることで、課題の抽出、対応策についての検討が行えた。

介護保険（保険料基準額・要介護認定率・高齢化率）

保 険 者 名	第7期保険料 基準額(月額) (円)	順位	第8期保険料 基準額(月額) (円)	順位	要介護認定 率 令和3年10月末時点	順位	要介護認定 率 令和4年10月末時点	順位	高齢化率 (65歳以上) 令和2年3月末時点	順位
鳥取市	6,500	10	6,333	7	19.5%	7	19.6%	9	28.9%	1
米子市	6,480	9	6,480	11	20.5%	12	20.8%	12	28.9%	1
倉吉市	6,392	8	6,392	9	18.3%	6	17.9%	4	33.4%	5
境港市	6,378	7	6,378	8	20.3%	10	20.6%	11	33.3%	4
岩美町	7,056	16	6,432	10	21.2%	14	21.1%	14	38.2%	10
若桜町	6,500	10	6,500	12	21.9%	15	23.0%	16	50.0%	15
智頭町	6,100	6	6,100	5	16.8%	3	17.9%	4	44.5%	13
八頭町	6,900	14	6,900	15	19.5%	7	19.5%	8	37.6%	8
三朝町	6,700	12	6,700	13	20.4%	11	20.4%	10	41.8%	12
湯梨浜町	6,000	4	6,200	6	18.2%	5	18.4%	6	32.2%	3
琴浦町	6,000	4	5,700	1	16.7%	2	16.8%	2	38.0%	9
北栄町	5,760	2	5,760	3	14.8%	1	14.5%	1	36.2%	6
大山町	6,946	15	6,946	16	19.6%	9	19.1%	7	40.3%	11
日南町	5,700	1	5,700	1	22.4%	16	24.3%	17	55.4%	17
日野町	7,459	17	6,859	14	20.9%	13	20.9%	13	51.5%	16
江府町	6,800	13	7,200	17	22.4%	16	22.9%	15	49.8%	14
南部箕蚊屋広域連合	5,917	3	5,804	4	17.9%	4	17.7%	3	37.1%	7
鳥取県平均保険 料基準額 (加重平均)	6,433	—	6,355	—	19.4%	—	19.5%	—	39.8%	—

※ 第7期保険料基準額については、平成30年5月公表時、第8期保険料基準額については、令和3年5月公表時の保険料基準額を掲載している。

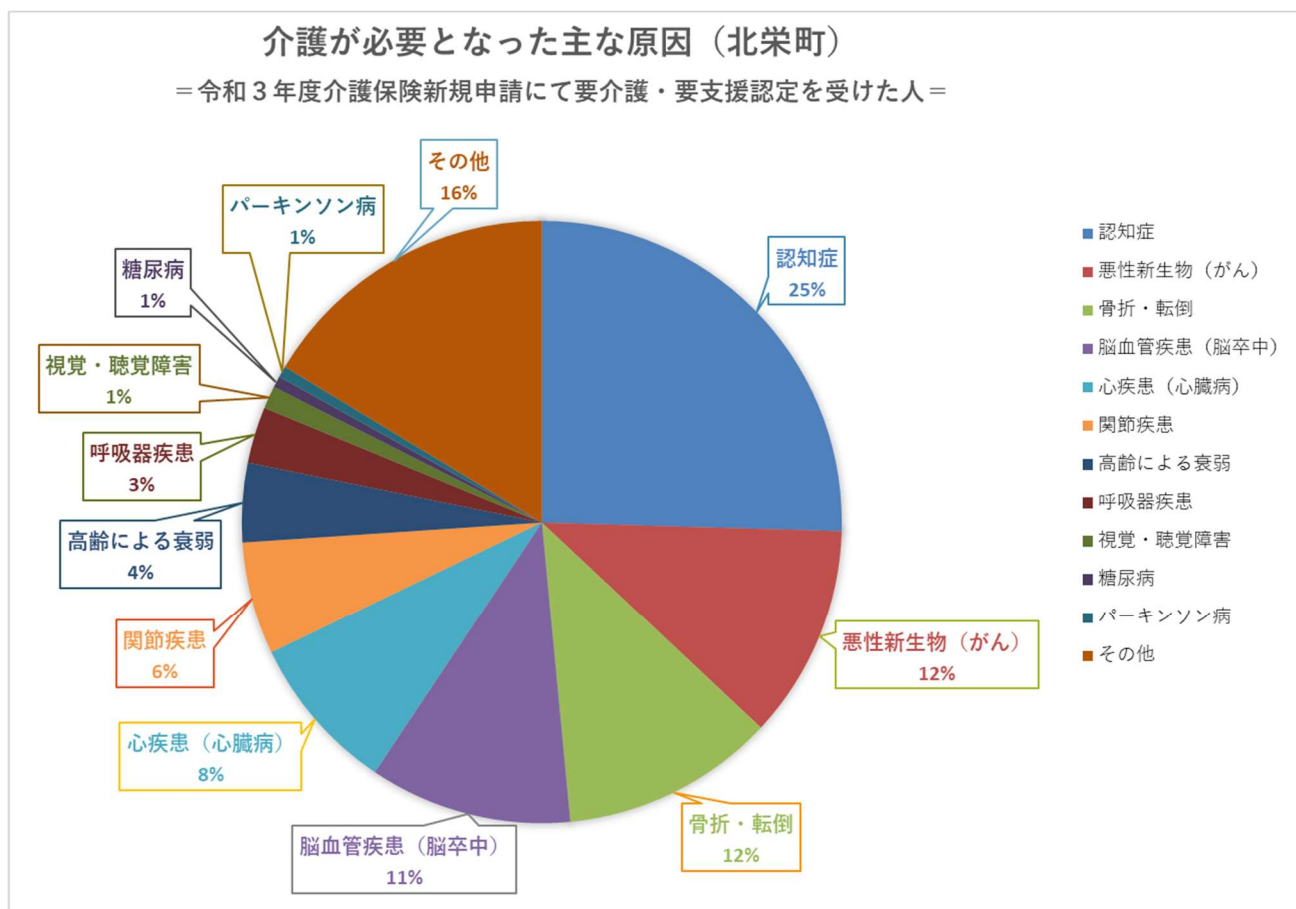
※ 要介護認定率(第1号被保険者の認定者数／第1号被保険者数)については、介護保険事業状況報告(令和3年10月月報、令和4年10月月報)の数値より算出している。

= 認知症関連資料 =

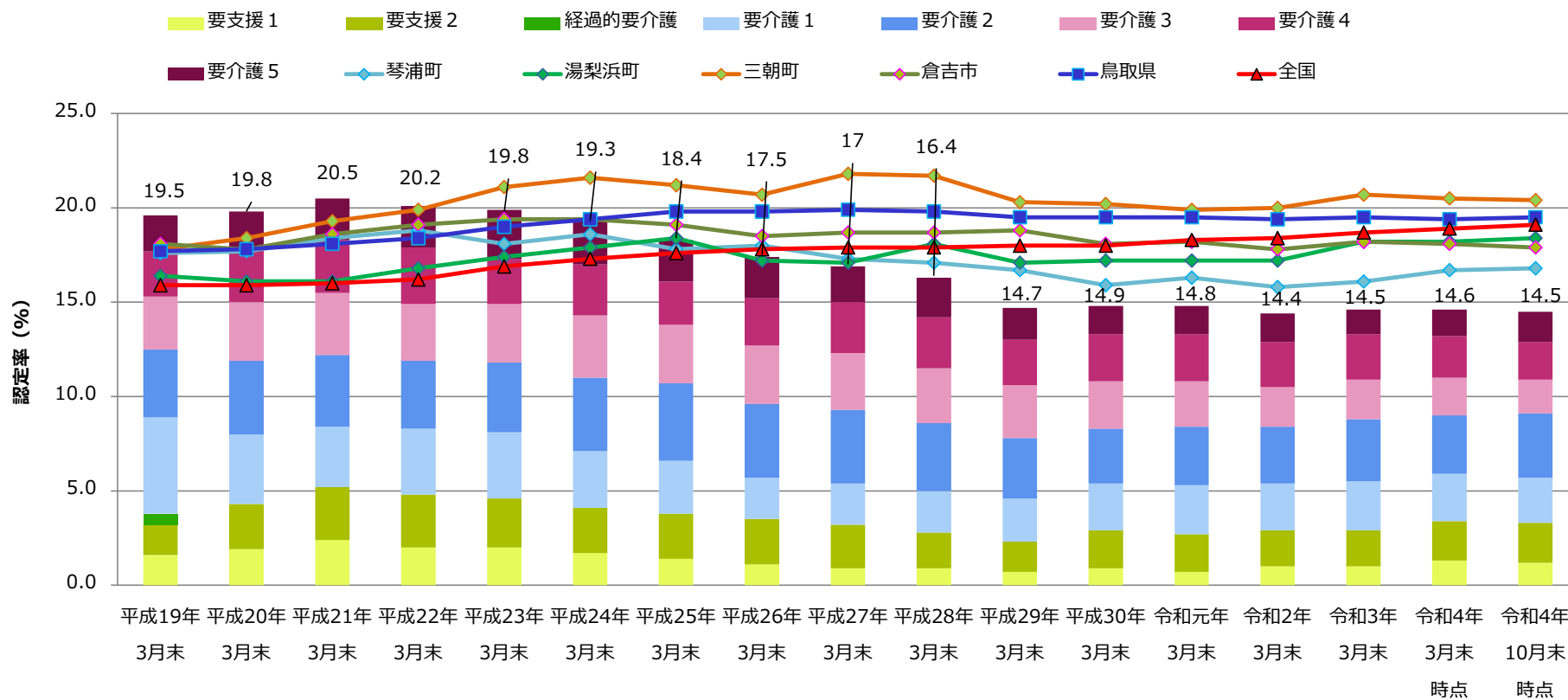
● 認知症高齢者の推移

区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年		令和4年		令和5年	令和7年	令和22年
	実績値 (9月末時点)	実績値 (9月末時点)	実績値 (9月末時点)	見込値 (計画値見込)	実績値 (9月末時点)	見込値 (計画値見込)	実績値 (9月末時点)	見込値 (計画値見込)	見込値 (計画値見込)	見込値 (計画値見込)
要支援・要介護 認定者数(人)	727	748	741	742	767	755	773	761	773	909
認知症高齢者数 (人)(Ⅱa以上)	546	543	560	568	565	586	562	598	615	778
割合	75.1%	72.6%	75.6%	76.6%	73.7%	77.6%	72.7%	78.6%	79.6%	85.6%

※実績値は9月末時点の要支援・要介護者数、認知症高齢者数。見込値は、過去5年間の実績から推計した数値。



認定率（要介護度別）（【北栄町：棒グラフ】全国・鳥取県・中部地区市町：折れ線グラフ）



（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和3,4年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）